

ヒーローズ塾生のみなさん、保護様方、こんにちは。

皆さん、夏休みはどうでしたか。しっかり頑張れましたか。宿題はすみましたか。思った通りの勉強はできましたか。「イエス」と答えられた人には、「素晴らしい、この後も引き続き頑張ってください」とだけ言っておきます。この後も油断せず、勉強していけば成績は必ず伸びます。それを楽しみに頑張ってください。さて、夏も終盤。これから秋にむけての夏の過ごし方のポイントを確認しましょう。

①切り替えが大切（勉強体力をつける）

受験生は多くの人が部活を引退し、勉強に集中できるようになります。ここでのポイントは、気持ちを切り替えることができるかということです。総体などが終わってしばらくは、今まで部活をしていた時間をうまく使えないという生徒さんを見ることがあります。もったいない。そこで一工夫。部活動をしていた時間を塾に来て勉強をし、塾という環境を利用して、気持ちを切り替えるという工夫です。このような生徒さんは、講習中、塾に半日中いることとなります。時間にして5時間から10時間はいるのではないのでしょうか。こうすることで、勉強体力もどんどんついていくようです。

②夏期課題プリントや夏テキストをする。

講習中に出した夏課題。これまでの復習になっています。これをやることで自分の弱点を発見できます。発見した弱点は復習をしておきましょう。受験までで、まとまった時間をじっくりと勉強できる最後の時期かもしれません。何となく勉強するのではなく、目標をもって1日1日を大切に勉強しましょう。

③志望校に見学に行く。

この時期に多くの学校ではオープンスクールを実施しています。興味のある学校には、是非足を運んで、学校の雰囲気や施設、通う場合の通学時間や手段など、自分の目で確かめておきましょう。オープンスクールは、友達の付き合いで行くということだけはしないようにしましょう。貴重な時間が無駄になります。本当に、自分が行きたいと思っている学校や興味のある学校だけにしましょう。

④模試を受験する。

高校受験では8月23、24、25日の岡山県模試や、中学受検の30日の適性模試など受験されたと思います。講習の成果確認と、休み明けの学校の自己診断テストの予行演習にもなる絶好の機会。受験後はすぐ復習です。

⑤10月の定期テストに備える。

2学期は中間テストと期末テストがあります。通知表をつける重要な材料です。また、高校受験をする中3生は最後の内申点。ここでしっかり上げておきましょう。

受験生面談を9月29日から行います。 9月29日(月)から10月11

9月 予定

1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	休校
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	中3補習
14	日	休校
15	月	休校(振替なし)
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	中1、2補習
21	日	休校
22	月	
23	火	休校(振替なし)
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	中3補習
28	日	休校
29	月	受験生面談
30	火	受験生面談

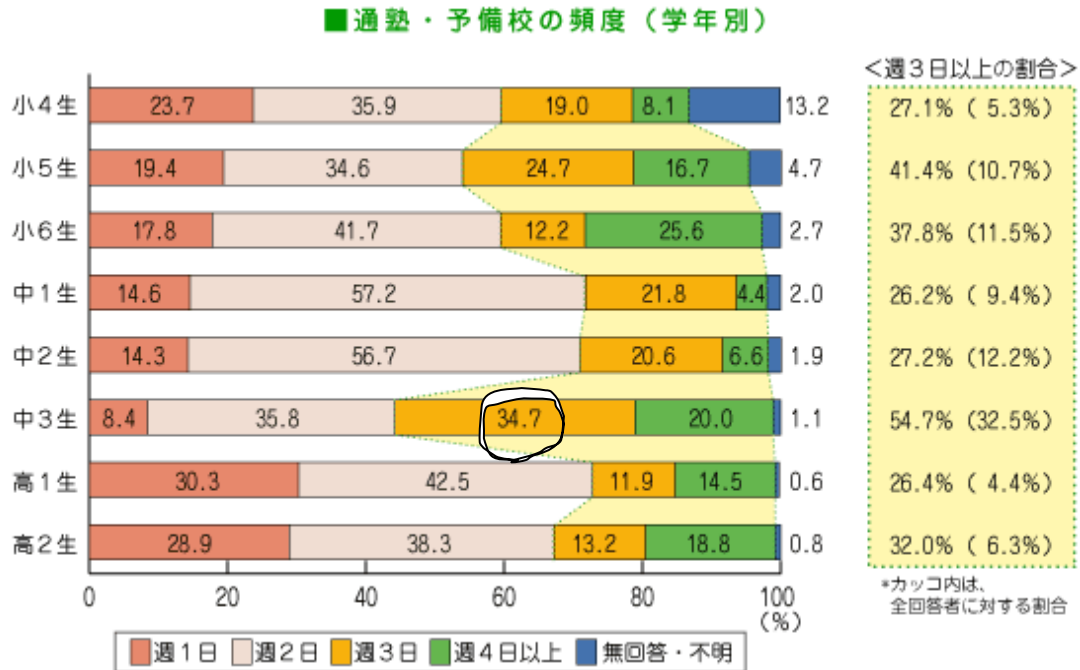
日までの2週間、対象は高校3年生、中学3年生、受検をされる小学6年生の面談を行います。別途ご案内を郵送します。参加のほどよろしくお祈いします。今後の塾としての取り組みやお願いなどお話しさせていただきます。

9月15、23の祝日は研修のため休校です。 休校日の振り替えは今回はありません。(月4週計

算のため)

以下、久しぶりの独り言・・・。

夏期講習における理科社会。学習量の確保で覚える教科からの考える教科へ。 7月21日から始まった夏期講習。通常授業より塾への通塾回数が多くなった生徒さん、逆に少なくなった生徒さんと様々ですが、成績は学習量が多く、通塾回数が多ければ、当然に上がります。高校受験を控えた週3日以上通塾する中3生は30%超もいます。弊塾も土曜補習をいれると週3通塾の中3が8割です。夏は学習量増のチャンスですね。(ベネッセ統計)



例えば社会、今夏は中2も用意しました。夏期講習では今回100分×5週で500分の学習量。そもそも、社会は覚える教科ではありません。考える教科にしなくては入試に勝てないからです。それは、「何、なぜ、どうして」の思考です。最近、学校でも学習方法に話し合いなどを取り入れています。その下地となる「地図帳の活用」や「ワークシートの活用」を授業では7割以上。経年で比較すると、「グループでの話し合い」を「4割以上」の授業割合が、2008年度の30.0%から2013年度は36.7%に増えています。その反面、教員側は日ごろ授業をして感じる課題として、「指導の準備にかけられる時間が足りない」と感じている割合(「とても感じる」+「まあ感じる」、以下同)が88.8%ともある。さらに「とても感じる」だけでも45.0%にのぼります。経年でも、2008年度比でほとんど変化がみられません。また生徒さんへの学習指導に関して「『活用』を中心とした学習時間が十分にとれない」と感じている割合が81.0%と高くほぼ4分の1にあたる23.1%が「とても感じる」というデータもあります。ようは数学や英語と違い、調べ学習が必要で、その分、手間がかかるわけです。また、他にも社会や理科は日常生活における生徒さん本人の興味、また今までの習慣やインプットしてきた教養が土台となるために、理解度の幅が大きい教科でもあります。※(活用→資料などで調べる学習方法)

地理でいえば、お盆前に学習した時差問題。日本の東経135度。まずはなぜ東経か?なぜ西経ではないのか?なぜ北経はないのか?から入らないと本当の理解にはなりません。当時の覇権国イギリス(グリニッジ)を0度に大西洋を東(東洋)と西(西洋)に分けた本初子午線。では、子午線の子午線って何?子午は方向のことです。子は北。午は真南。つまり北と南を結ぶ線(経線)。十二支は時間だけでなく実は方向も表していました。

歴史なら、人気のある明治維新。1600年関ヶ原の戦い。東軍徳川×西軍毛利(実際は石田氏)の天下分け目の戦いです。大将の毛利家は領土を減封。収入が10分の1となり広島から山口萩へ。積年の恨みでを代々引き継ぎ262年後・・・リベンジ。つながりの理解です。

個別指導学院ヒーローズ岡山妹尾校

TEL FAX 086-239-8696

ブログ <http://heros-okayama.com>